

9月24日、農林畜産食品部はアフリカ豚コレラの防疫の推進状況を公表しているところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmcMElMkY20CUyRjMyMTQxMCUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

アフリカ豚コレラの主要防疫推進状況

【本文】

(発生の現況) 9月16日と9月17日、アフリカ豚コレラが京畿道坡州と漣川所在の2つの農場で発生した後、9月23日、京畿道金浦市(1戸)と坡州市(1戸)の養豚農家でアフリカ豚コレラが追加発生した。

(金浦) 9月23日午前に申告された金浦市の養豚農家は母豚4頭が異常、母豚1頭がへい死した。

該当農場は、1800頭余りを飼育し、フェンスが設置されており、一般飼料を給与していた。また、外国人労働者(2人、タイ)が勤務していた。

(坡州) 発生農場は、農場主が9月23日、母豚3頭の異常の症状を確認して坡州市に疑いの申告をし、該当農場は、豚約2,300頭(母豚200頭)を飼育し、漣川の発生農場から防疫帯内の約6.9km離れたところに位置している。

該当農場にはフェンスが設けられ、残飯は給与されていない。外国人労働者(1人、タイ)がいることが確認された。

\*アフリカ豚コレラ(ASF)発生現況:計4件

- 1) 9月16日申告 京畿道坡州市煙多山洞(ヨンダサンドン)所在の豚農場(9月17日確認)
- 2) 9月17日申告 京畿道漣川郡百鶴面(ペッカソミョン)所在の豚農場(9月18日確認)
- 3) 9月23日申告 京畿道金浦市通津(トンジン)邑所在の豚農場(9月23日確認)
- 4) 9月23日申告 京畿道坡州市積城面(チョクソンミョン)所在の豚農場(9月24日確認)

(重点管理地域) 今回発生した金浦、坡州の2か所は9月17日から重点管理地域に指定し管理している。

(搬出禁止) 重点管理地域は9月17日以降、他地域への豚及び糞尿の搬出を3週間禁

止。

(哨所) 養豚農家の入口に警戒所を設置し、出入する者、車両を統制。

(立入制限) 治療目的を除いては獣医、コンサルタント、飼料業者関係者は、農場への3週間の出入りを制限。

(集中消毒) 共同防除団、軍除毒車両など消毒車両を総動員し、農家と周辺道路などを集中的に消毒。

(点検管理) 農食品部から特別防疫団(17班34人)などが重点管理地域の現場に常駐し、集中的に点検。

(緊急防疫措置) 9月23日、金浦所在の豚農場でASFが確認されたことによりASFの拡散防止に向けて、昨日(9月23日)19時30分から48時間\*の京畿、仁川と江原道地域の豚農場、と畜場、飼料工場、出入り車両などを対象に一時移動中止命令(Standstill)を発令。

\*京畿・仁川・江原道の一時移動中止期間：'19.9.23.19:30~'19.9.25.19:30

この期間中、農場、と畜場など畜産関連施設に対する大々的な消毒等を実施。

(殺処分) 農食品部と京畿道が、追加協議して金浦発生農場に対する予防的殺処分の範囲を発生農家の半径3キロ以内まで拡大するなど、より先制的に強力に対応。

(以上)